

*プロジェクト

2 「区民健康づくりプラン品川」の推進

経緯

わが国の疾病構造は、感染症から生活習慣病へと変化している。生活習慣病に起因する要介護状態を予防し、高齢期においても健やかで心豊かな生活を送れるよう、健康寿命の延伸を図っていくことが大きな課題となっている。平成13年12月、「健康づくり区民会議」を設置し、計画の検討を開始した。平成15年3月、「区民健康づくりプラン品川」を策定する。

計画の目標

区民生活のさまざまな場で健康づくりのための活動が多様に展開されること

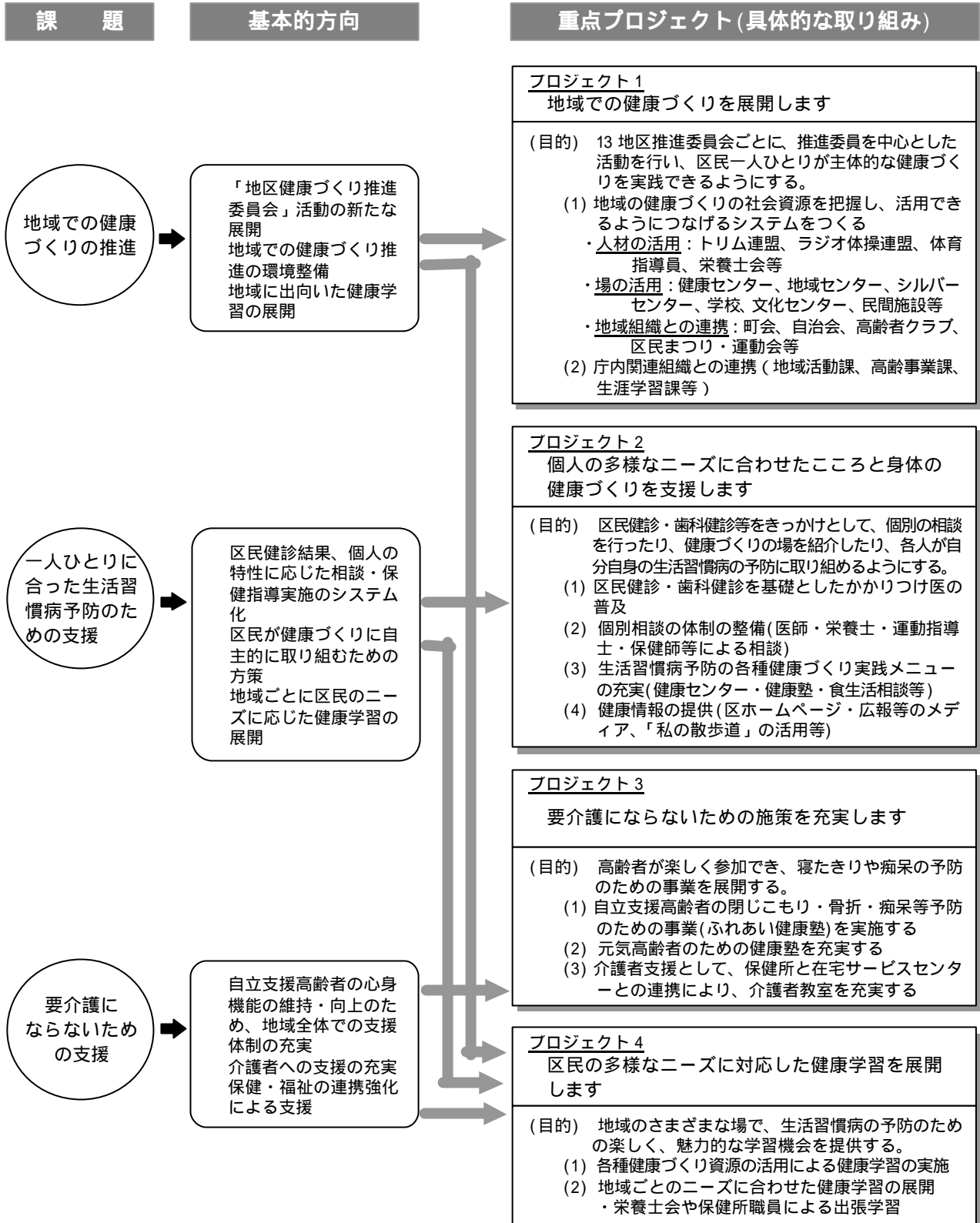
基本方針

1. 区民一人ひとりが、日常生活のなかで自発的に実践できるものとする。
2. 身近な地域で健康づくりにかかわるさまざまな団体が連携協力して活動を展開できるものとする。
3. 区にあっては、保健サービス施策・事業を見直し、効率的・一体的な実施に向けて体系化・重点化を図るとともに、民間の施設・サービスも有効に活用する。

「区民健康づくりプラン品川」のスケジュール

	平成13年度	平成14年度	平成15～19年度
区民健康づくりプラン品川	区民会議の設置 計画の検討	計画の策定	区民健康づくり運動の推進

成人の健康づくりの課題と取り組み



推進策

1. 地域での健康づくりの推進 - 「健康づくり推進委員会」の設置

13 の地域センターごとに、「地区健康づくり推進委員会」を設置し、区民一人ひとりが主体的に健康づくりを実践できるようにする。

地域の健康づくりを推進するため、健康センター、地域センター、シルバーセンター、町会会館等身近な場、および栄養士会、トリム連盟、ラジオ体操連盟等地域の人材など、さまざまな社会資源を把握し活用できるようなシステムをつくる。

医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携を強化する。

身近な地域のさまざまな場所で、健康課題や要望に合った魅力的な健康学習の機会を提供する。

地域活動課、高齢事業課、生涯学習課等の健康づくり関連組織との連携を強化する。

2. 一人ひとりに合った生活習慣病予防のための支援

区民健診・歯科健診を基礎とした、かかりつけ医の普及を図る。

生活習慣病予防の個別相談の体制を整備する。(医師・栄養士・運動指導士・保健師等による相談)

健康センターと連携した健康づくり実践メニューの充実を図る。

健康情報の提供を推進する。(健康手帳の活用、区ホームページの充実、広報等のメディアの活用、「私の散歩道」の活用等)

3. 要介護にならないための支援

高齢者が楽しく参加できる、寝たきりや痴呆の予防のための事業を展開する。

元気な高齢者のための健康塾を充実する。

自立支援高齢者の閉じこもり、骨折、痴呆等の介護予防事業として、「ふれあい健康塾」を新規に実施する。

介護者支援として、保健所と在宅サービスセンターとの連携による介護者教室の実施。

4. 多様なニーズに対応した健康学習の展開

栄養士会や医師会など地域の人材を活用した健康学習を実施する。

地域ごとのニーズに合わせた魅力的な健康学習を展開する。

● 体制 ● 「(仮称)区民健康づくり推進会議」の設置

健康づくり推進委員会代表、医療関係団体、各健康づくり実践団体、地域住民団体の代表などで構成する「(仮称)区民健康づくり推進会議」を設置し、計画の実施状況を評価するとともに、全区的な連絡調整を図る。

身近な地域で、健康づくりや啓発を行うため、13 地域センターごとに設置される「健康づくり推進委員会」活動を支援する。

成人の健康づくり推進体制

